

NEWS RELEASE

平成29年7月

『月刊トライボロジー 7月号』に掲載

～MHCベアリングチェックカーラー / 閑話休題～

『月刊 トライボロジー 7月号』(株式会社新樹社発行)に、「MHCベアリングチェックカーラー」の広告を出稿、コラム「『旅』と『レジリエンス』」が掲載されました。

◆対象製品: 「MHCベアリングチェックカーラー」

◆掲載内容:

軸受の状態診断をはじめたい方に最適!

MHCベアリングチェックカーラー



Point 1 簡単・スピーディに軸受の状態を「良好」「注意」「不良」の3段階表示
マグネット式センサをケーブルに設置し、ボタンを押すだけで計測完了、結果を表示!

Point 2 AE技術を採用! 潤滑不良などの微細なトラブルを早期に検知
適切なタイミングで給油することで、部品の延命が期待できます。

出展メンテナンス・レジリエンス TOKYO 7/19(水) ~ 21(金) ブースNo. 東京都練馬区北町7-13-19 TEL:03-3937-0631 東京ビッグサイト 東3ホール 3F-41

日本総代理店 お問合せ先 鉄原実業株式会社 東京都練馬区北町7-13-19 TEL:03-3937-0631 http://www.tetsugen.com
製造元 Parker HOLROYD パーカーキティウェイク MHCベアリングチェックカーラー 検索

旅の「はじまり」

今年のゴールデン・ウィークも旅に出た。ここ数年は、6~8日程度の長期休みを利用して年に2回ほど海外に行くのが日課ならぬ「年課」になっている。今月の行き先はイギリス。大学時代の友人と二人、勝手気ままな個人ツーリングの旅だ。フライ、ホテル、現地アーティなど、すべて自分たちで手配する。同様の旅を過去、オーストラリアで2回、ペルギー・オランダ、サンフランシスコでしてきた。最近は(英語圏であれば)ひとり旅であっても問題なくなるようになっていたこともあり、今回も万事精査に努めた。前にもヒューストンの空港で誤ちで飛ばされると信じて疑わなかった。

ロンドン初日の午後8時、空港からバスで2時間行ったところにある大学の街、オックスフォードに私たちちはいた。運んでいたスケーバーをさしつながる、バス停から徒歩20分。ようやくたどり着いたトマス・ハーバード(いわゆるB級)で待っている。

旅することの意義

私が旅に出る理由。それは主に二つある。一つは、単なる好奇心からだ。特に興味をひかれるのがローラー。多數現存する世界遺産や歴史ある建物を眺めつつ、思いっきり息を吸い込む。そして過去同じようにこの石畳の上を歩いた人々に思いを繋せる。

もう一つの理由。それは、ストレス耐性をつけるためだ。皆さんには「レジリエンス」という言葉を耳にしたことがあるだろうか。全米心理学会での説明では「適度や均強、強いストレスに直面した時に、適応する精神力と心理的プロセス」とあり、テレビ番組でも取り上げられた。レジリエンスが個人の特徴は一つあるのだという。それは「回復力」、「緩衝力」、

旅の「旅とレジリエンス」

田代有紀 鉄原実業海外製品部 マーケティング担当

正直の率直——「残念だけど、君たちの旅応力力」(参考語:「なぜ、一流の人はハーハーワークでも心が疲れないのであ?」/久賀酒司司)。まさに私に足りない資質がこれまで持っているではないか。旅する動物について僕からレジリエンスなことがとにかく苦手で、普段乗っている電車に運送が発生しただけでも心臓の音がぱくぱく耳に聞こえるほど。社会人になってすぐは、「仕事をする」という行為そのものがザ・レジリエンスだったため、身体的にも精神的にも、相当鍛入したことを今までよく覚えていた。まずはがに数か月もすれば、段々と日常の光景になってしまった。それでもやはり「突然的な何か」は怖い。昔、先輩に「竹のようないしなやかさ」が会社に身を置くことで生きていくには必要で、私にはそれが足りないからある日はっきり折れそうだ、いわれたことがあった。そんな折、ツアーで参加するよりも自分たちで配したほうが格安で海外旅行に行けることを知った私は、僕的の力だけではなく、それをレジリエンスの耐性づくりのために利用しようと考えた。普段も、そういう意味でたらねば、今回は貴重な体験をすることができたわけだ。

「レジリエンス」とは、まさに変化の激しい現代社会を生きる私たちが、長いものにまわれるわけでもなく、正面からぶつかっていくのでもなく、「人として存在する」ために必要なスキル。私は天から与えられる仕事だけではなく、自ら選択した地を生きることで、これからも自らの「レジリエンス」を高めていきたいと思う。この想いがきっと、これからも私を「海外へと駆り立てるのだろう。それは「回復力」、「緩衝力」、

1 月刊トライボロジー 2017.7

【本件に関するお問い合わせ】

鉄原実業株式会社

〒179-0081 東京都練馬区北町7-13-19 TEL:03-3937-0631 FAX:03-3937-1572